

財政市民委員会

日 程 (令和5年)		7月19日～7月21日(3日間)
調査都市		静岡市 神戸市 福岡市
視 察 参 加 者	委員長 副委員長 委員	かんの 太一 山田 洋聡 鈴木 健雄 細川 正人 小竹 ともこ しのだ 江里子 定 森 光 森 山 由美子 池 田 由 美 坂 元みちたか 米 倉 みな子
	随行書記	土佐岡 潤 小 野 舞
調査項目		1 静岡市歴史博物館について 2 神戸市中央区役所について 3 福岡市アセットマネジメントについて 4 F u k u o k a A r t N e x t に ついて

静岡 岡 市

【静岡市歴史博物館について】

1 開館に至るまでの経緯について

昭和50年代	旧静岡市で仮称・静岡市歴史文化施設の建設構想の検討開始
昭和61～平成2年度	静岡市の第6次総合計画に登載
平成22年度	基本構想策定
平成26～27年度	さきがけ博物館事業の試行
平成27年度	基本計画策定
平成29～令和元年度	設計
令和2～4年度	建設工事
令和4年7月23日	プレオープン
令和5年1月13日	グランドオープン



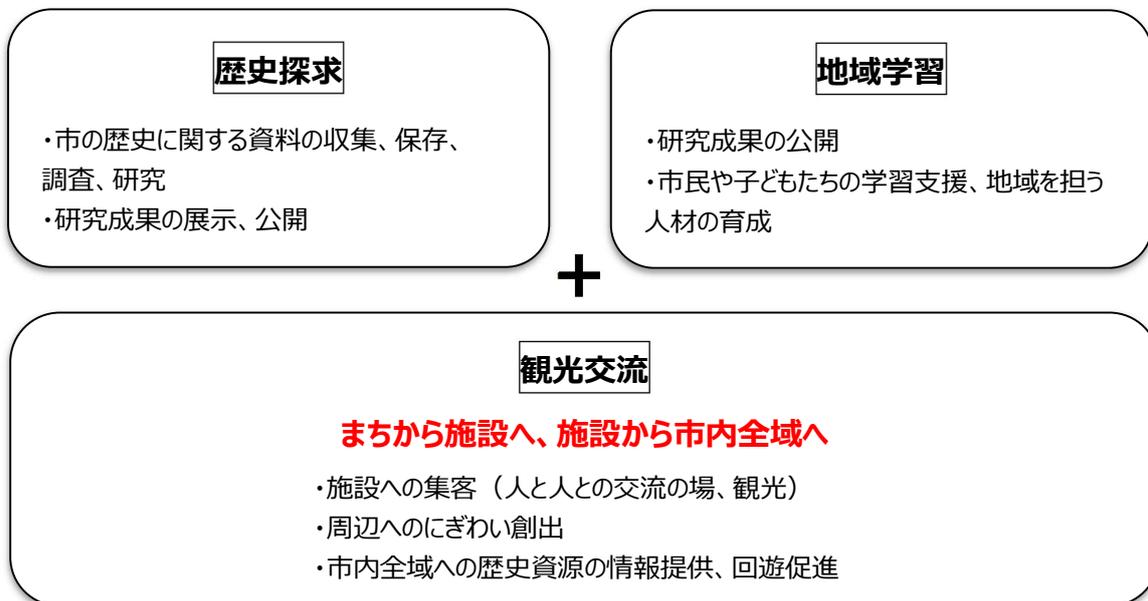
かんの 太 ー 委員長

2 施設の概要について

(1) 基本理念

歴史文化から静岡の未来をつくる。
 ～静岡の過去を学び、今を知る。そして、未来を考える。～

(2) 役割



(3) 建築と設計のコンセプト

- ・ 設計を担当したSANA A事務所は、妹島和世氏と西沢立衛氏による建築家ユニットで、金沢21世紀美術館やルーブル＝ランス（ルーブル美術館ランス別館）の設計を手がけている。
- ・ 歴史博物館は、人が集まる中心市街地に位置しており、その立地を活かし、さまざまな方向から人の流れを取り込むことで、回遊性を高める建築になっている。また、まちと駿府城公園とをつなぐ道が、雁行していることに着目し、直線と直角で構成された建築物のイメージとしている。

静岡市

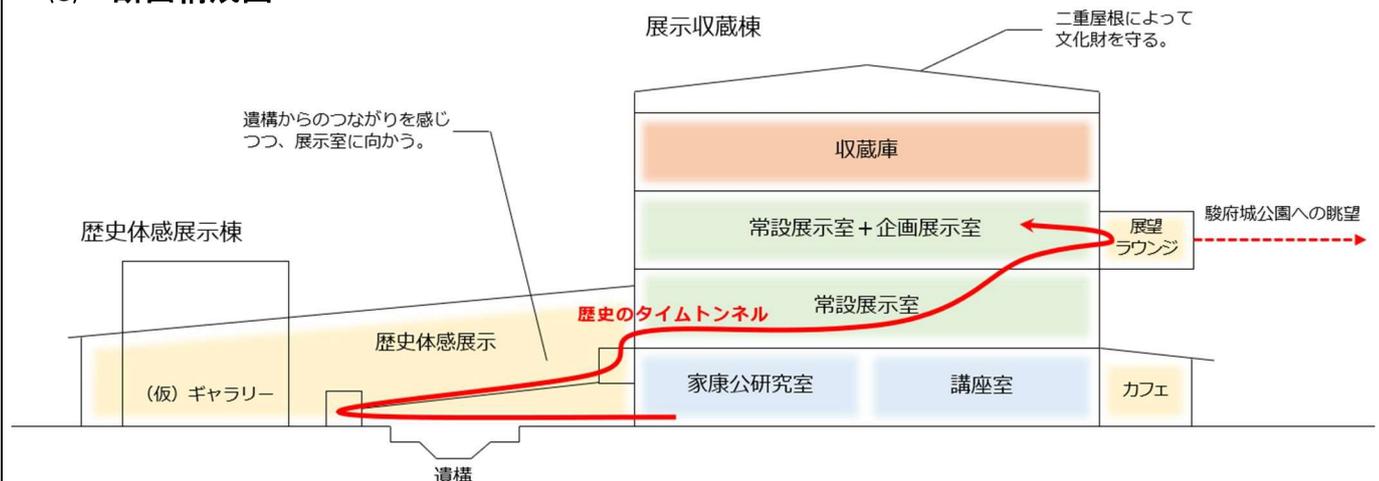
(4) 施設概要

- 施設概要 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 地上4階建
 建築面積：2,285.27㎡
 敷地面積：4,986.43㎡
 延床面積：4,885.86㎡
- 主要諸室
 - 1階：歴史体感展示、市民活動室、学習支援室、講座室、家康公研究室、館長室、事務室・学芸員室、ボランティア・休憩室、トラックヤード、資料整理室、燻蒸室、機械室
 - 2階：基本展示室、ホワイエ、機械室
 - 3階：基本・企画展示室、展望ラウンジ、機械室
 - 4階：一般収蔵庫、特別収蔵庫、機械室
- 観覧料 一般600円、高校生・大学生・市内70歳以上420円、小学生・中学生150円
 ※上記は基本展示（2～3階）の金額。1階は無料。企画展示は別途観覧料あり。別途団体料金や割引料金、免除などあり。

(5) 周辺地図



(6) 断面構成図



静岡市

3 主な施策等について

(1) 資料調査・調査研究

地域の歴史・文化資料や展示に関する歴史資料の調査研究を行う。特に、徳川家康を中心にして、今川氏、駿府城下町、東海道、静岡藩をはじめとする静岡市の近現代など、静岡市の歴史に重要なテーマ・資料についての調査研究を行う。

(2) 資料収集・保存・管理

徳川家康、今川氏、駿府城下町、東海道、静岡市の近現代などの資料を収集し、適切な保存環境（収蔵庫は4階に設置）のもとで、専門の学芸員による保存・管理を進めていく。



山田洋聡 副委員長

4 運営方法について

公益財団法人静岡市文化振興財団を指定管理者として運営。

館長は中村羊一郎氏（専門は文化史・民俗学・茶の研究、博士（歴史民俗資料学）、元静岡産業大学教授）。

職員は19名。うち学芸員は8名。（令和5年4月現在）



鈴木健雄 委員

5 施設調査について

説明聴取の後、施設内の視察を行った。



<委員からの主な質問と回答>

Q：昭和50年代から歴史博物館の検討を行ってきたとのことだったが、近現代以前の静岡の歴史について取り扱うことを検討することはなかったのか。

A：市の南部に登呂遺跡、登呂博物館があり、古代から近現代まですべてを網羅した博物館とせず、駿府城や徳川家康、今川家をメインテーマとした博物館として、すみ分けを行った。

Q：オンラインでの日時指定予約が可能となっているが、ICTに不慣れな高齢者や、突然来られた観光客への対応はどのようにしているのか。

A：事前予約を推奨はしているが、すべてを予約枠で埋めることはせず、当日券の枠も設けているので、窓口で直接購入することもできるようにしている。

Q：文化という成果を図ることが難しいものを指定管理者に業務委託するにあたって、どういったものを成果指標としているのか。

A：入館者数など数字の部分に加え、満足度調査結果やそれぞれの事業に対する評価を成果指標としている。

Q：「しずれきガイドツアー」を実施しているとのことだが、参加者の内訳はどのようにになっているのか。

A：全体の約6割が市内の方、約4割が観光客となっている。10回近く繰り返し参加している市内の方など、地元を知るために参加している方も多い。

神戸市

【神戸市中央区役所について】

1 開館に至るまでの経緯について

(1) 庁舎移転の経緯・スケジュール

平成29年度	区民まちづくり会議（4回実施） ⇒中央区庁舎のあり方について検討
平成30年4月	庁舎整備基本計画案に関する意見募集実施
平成30年7月	新中央区総合庁舎整備基本計画策定
令和2年8月	建設工事着工
令和4年5月	竣工
令和4年7月15日	旧中央区役所最終日
令和4年7月19日	オープン



細川 正人 委員

(2) 新中央区総合庁舎整備基本計画（概要）

➤ 中央区の行政施設・文化施設の老朽化

- ⇒ 中央区庁舎（昭和55年）
- 勤労会館（昭和55年）
- 葺合文化センター（昭和57年）
- 生田文化会館（昭和58年）

➤ 三宮周辺地区の再整備

- ⇒ 三宮周辺地区「再整備基本構想」（平成27年）
- 本庁舎2号館及び3号館の老朽化により建て替えを検討



【新中央区総合庁舎の整備方針】

⇒ **本庁舎3号館を解体し、跡地に中央区庁舎と勤労会館の機能を「新中央区総合庁舎」として一体整備。**

併せて葺合文化センター、生田文化会館の機能も確保。

確保できない機能（ホール、体育館など）を三宮周辺の再整備エリアで確保。

※整備に当たっての視点

- ・災害に強く、安全・安心の庁舎
- ・省エネルギーで環境にやさしい庁舎
- ・誰もが利用しやすいユニバーサルデザインの庁舎

2 施設の概要について

(1) 基本情報

- 地下1階、地上12階建て
※中央区文化センターとの複合施設
（2～8階：区役所、1階及び9～11階：文化センター）
- 延床面積 区役所：約12,400㎡
文化センター：約4,900㎡
- 建設費：82億1,000万円（文化センター25億4,000万円）
- 特徴：旧居留地の街並みに調和した上質なデザイン
木材を効果的に使用した自然の温かみを感じられるデザイン



小竹 ともこ 委員

神戸市

(2) 新庁舎のコンセプトと特徴「～UNIな区役所～」

- UNIVERSAL（ユニバーサル）：あらゆる人に分かりやすく快適に

① スマホで簡単！事前予約

市民課、保険年金医療課、保健福祉課の3課の一部窓口業務（印鑑登録、母子健康手帳等）について、スマホやパソコンから来庁日時を簡単予約。



② おやこふらっとひろば中央

0～2歳の子どもとその保護者を対象に、親子が気軽に集い、くつろぎ、子育て相談や情報提供を行う親子の居場所を整備。

- UNIQUE（ユニーク）：中央区らしさを感じられる区役所

外国人相談窓口の運営

旧中央区役所で平成31年度より開設していた外国人相談窓口を新庁舎でも引き続き設置。
英語・中国語対応可能な専属スタッフが、多言語での情報提供や相談対応、区役所窓口での通訳サポートを実施。
（対応言語：16言語）



しのだ 江里子 委員

3 施設調査について

説明聴取の後、施設内の視察を行った。



<委員からの主な質問と回答>

- Q：区役所の建替えに当たって、重要なところや不足しているところなどはあったか。
- A：敷地が台形であるため、エレベーターのある北側エントランスにスペースがあまり確保できておらず、健診の日など利用が集中する際は非常に混雑してしまうことがあり、運用に苦慮しているところ。
- Q：文化センターの機能はどのようなものか。札幌市のまちづくりセンターのような機能があるのか。
- A：会議室やホール機能などあくまでも文化教育に係る施設であり、証明書の発行などの機能はない。
- Q：他の区役所の建替えも今後進めて行くのか。
- A：神戸市には9つの行政区があるが、予定している区役所の建替え（改修）はほぼ完了している状況。
- Q：不特定多数の市民が集まる文化センター機能を高層階に設置した理由はあるのか。
- A：限られた土地の中でどのように整備していくのかを多角的に検討した結果にはなるが、高層階には会議室やスタジオ等を設け、多くの人が集まることが想定される多目的のルームは1階に整備している。

福 岡 市

【福岡市アセットマネジメントについて】

1 これまでの取組と成果について

(1) 経緯

福岡市の公共施設の多くは、高度経済成長期や政令指定都市移行期の行政需要が拡大した昭和40年代から50年代に集中的に整備されている。公共施設における新たな維持管理手法の導入を検討していた平成10年代後半においては、施設の更新（建て替え）時期を建設から40年程度と想定しており、施設の更新時期を迎えるにあたっての課題に対応するため、アセットマネジメントという管理手法を導入し、計画的かつ効率的な維持管理への転換に取り組むこととした。

そこで、全庁的にアセットマネジメントに取り組むため、市としての方向性や取り組むべき内容、推進体制など基本的な枠組みを定めた「福岡市アセットマネジメント基本方針（以下「基本方針」という。）」を平成20年に策定し、財政負担の軽減や平準化を図りつつ、市有施設を市民が安全・安心に利用できるよう維持し、良質な公共サービスを持続的に提供していくこととした。

基本方針においては、5つの方向性をもってアセットマネジメントを推進することで、市有施設を安全・安心に維持し、良質な公共サービスを持続的に提供することとしている。

＜福岡市のアセットマネジメントの方向性＞

- ◎ 既存ストックの有効活用
- ◎ 計画的かつ効率的な維持管理への転換
- ◎ 財政の健全化
- ◎ 市民ニーズや社会的要請への対応
- ◎ 説明責任の確保と市民との共働



定 森 光 委員

(2) これまでの主な取組と成果

1. 施設の長寿命化と投資の平準化

① 一般建築物等の長寿命化による効果

長寿命化に取り組んだ結果、更新経費の実績は、従来手法に比べ、全体として抑えている。また、後年度の更新経費を軽減するため、学校規模適正化や耐震対策（市営住宅）、陳腐化への対応（青果市場）などが必要となった施設では、更新時期を前倒している。

② 「各施設（類型）の実行計画」の見直し等

「基本方針」に基づいて策定していた実行計画を、部位ごとの重要度に応じた点検頻度や保全方法の変更など、国のマニュアル等を踏まえ、「個別施設計画」への見直し等を進めた。

2. 施設運営・保守管理の効率化

光熱水費や保守管理費の縮減とともに、PPP/PFIなど多様な事業手法の活用による施設運営の効率化や施設整備費の平準化に取り組んでいる。

3. 施設等の有効活用

① 既存の施設や敷地の有効活用

施設の改修や更新にあたっては、社会経済情勢や市民ニーズの変化等を踏まえ、施設の統合や用途が異なる施設の複合化による機能の充実や効率化、敷地の有効活用に取り組んでいる。

② 施設の設置目的や需要の変化等に応じた施設のあり方検討

設置から長期間経過した施設については、社会経済情勢や市民ニーズの変化に応じて、民間施設との役割分担、運営コストの状況など、施設のあり方を検討したうえで、用途の変更や廃止などにも取り組んでいる。

4. 管理から経営への転換

施設の機能や余裕部分、空間などを活用して、駐車場の有料化や自動販売機の設置、広告の掲示などにより財源を確保し、所管施設の維持管理経費等に活用している。



森 山 由美子 委員

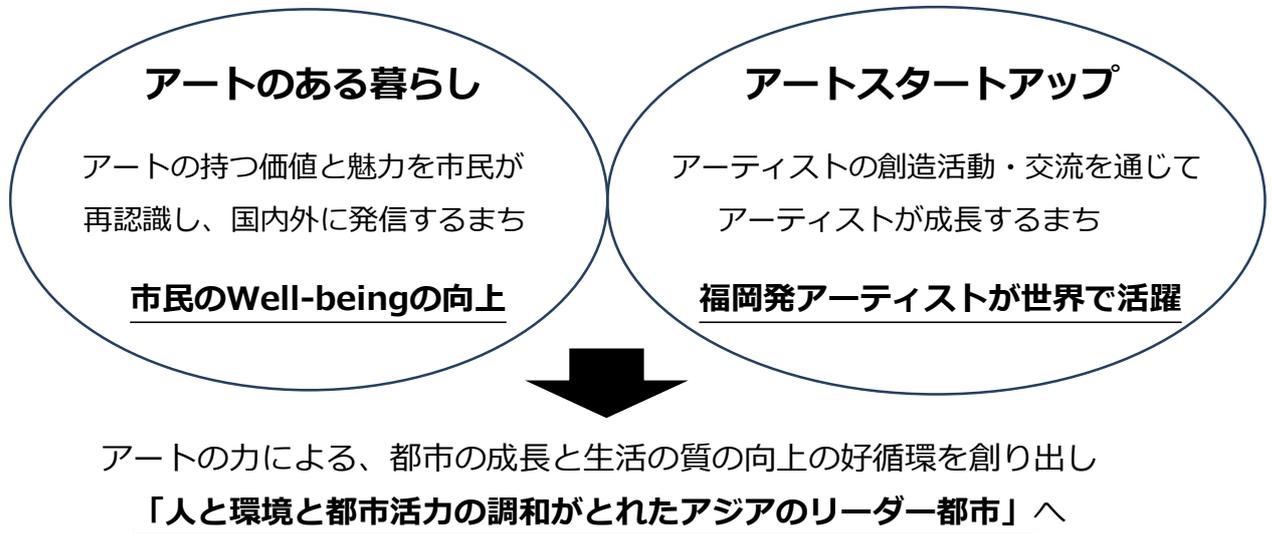
福岡市

【Fukuoka Art Nextについて】

1 事業の概要について

＜事業コンセプト＞

令和4年4月、福岡市美術館や福岡アジア美術館のこれまでの取組をさらに発展させ、彩りにあふれたまちを目指す「**Fukuoka Art Next**」を始動。



2 事業開始までの経緯・背景について

＜なぜ今 福岡市でアートに取り組むのか＞

都市の活力

- 都市の成長と生活の質の向上の好循環を生み出してきた実績
「アートのある暮らし」と「アートスタートアップ」で潤う都市へ
- 国家戦略特区・スタートアップ都市の実績
日本で一番アーティストが成長する都市・グローバルシティへ

文化の土壌

- アジアとの玄関口として発展し、培われてきた文化的土壌
- 福岡アジア美術館・福岡市美術館の高い評価と実績
アジアをはじめ国内外からアーティストや美術関係者を惹きつける都市へ

都市の特徴

- コンパクトシティ、アジアに近い地理的優位性
アジアとの交流によるアートマーケットの拡大へ
- 世界も評価する住みやすさ
アートのある暮らしの推進による市民のWell-beingの向上へ



坂 元みちたか 委員

FaN
Fukuoka Art Next

【ロゴマーク】
 「FaN」には、風を送る、広がる、またアーティストのファンになるという意味もある。
 福岡市全体でアーティストを応援し、Fukuoka Art Next」の取組がまち全体に広がっていくよう、ロゴに願いを込めた。

福岡市

3 令和4年度の取組について

- (1) アートのまちづくり推進担当の部署を新設
産・学・官連携による取組を推進
⇒ アートのある暮らしの推進に係る啓発・広報活動（イベント、ロゴ・HP作成等）
 - (2) アートに出会う、アートファンになる18日間「FaN Week」の開催
福岡の街中にアートスポットがあふれ、現代アートで賑う「FaN Week」を開催
⇒ アートマルシェ、コレクターズ展、31の民間主催イベントと連携、デジタルスタンプラリーによる回遊性向上の取組 等
開催実績：協賛企業2社、主な展示会場の来場者数62,205人
 - (3) アートフェアアジア福岡2022官民共催
九州初、アートフェアとして保税展示場制度を活用
⇒ 海外4ギャラリー、23作品を展示・販売
出展ブース：国内外80ギャラリー、出展アーティスト：約300人
来場者数：8,364人（4日間／2会場合計）
会期中取引額：1億9千万円
- 

FaN Week
アートに出会う
アートファンになる18日間
2022.9.23 - 10.10
- 
- (4) Fukuoka Wall Art Project
アーティストに仮囲い等を活用したまちなかでの発表の場と作品を展示・販売する機会を提供
⇒ アーティストのさらなる活躍につなげるとともに、アートによるまちの賑わいの創出を図る。
 - (5) 福岡アートアワードの新設
福岡市内で目覚ましい活動を行い、今後さらなる飛躍が期待できるアーティストを対象に、作品の買い上げをもってアートアワードを贈賞
⇒ 福岡市美術館の所蔵品として展示活用、受賞アーティスト、作品の世界展開の支援
 - (6) Artist Cafe Fukuoka の新設
福岡市美術館や大濠公園などを含むセントラルパークエリア内に位置する旧舞鶴中学校南棟1階に、アーティストの成長・交流拠点として令和4年9月1日オープン
⇒ コミュニティスペース：ビジネスや教育等の助言、アート関係の就職、進学相談、活動継続支援について、分野別の専門相談員を配置
制作スタジオ：レジデンス事業のアーティストの活動拠点
展示ギャラリー：レジデンス事業で制作した作品展示等
 - (7) レジデンス事業の拡充
アジアからの招聘アーティスト2名に加え、新たに国内外から6名の次世代アーティストを募集
⇒ 福岡アジア美術館と九州大学、九州産業大学が連携し、アーティストを支援、Artist Cafe Fukuokaで作品制作・展示



米倉みな子 委員

<委員からの主な質問と回答>

- Q： 事業を推進するに当たって、アーティストのニーズをどのように把握しているのか。
- A： 美術館と大学の包括外部協定により学生のニーズを吸収し、Artist Cafe Fukuoka の相談窓口からアーティストのニーズを吸い上げている。また、専門家からも全国的な動きや取組のアドバイス等も得ている。